

第71回宮城県高校総体における観客の入場について

宮城県高等学校体育連盟

- ・各専門部とも5月10日現在のものであり、新型コロナウイルス感染症の状況によっては変更もあり得ることを予めご了承願います。
- ・全競技において、マスクの着用・手指の消毒・入口での検温を必須とします。
- ・全校応援や文化部員等による応援割当等については、今大会は自粛願います。
- ・入場制限、応援規制は要点のみ記載してあります。記載のないことでも会場においてさらに細かく規制する場合がありますので、必ず会場責任者の指示に従ってください。

		観客の入場	入場制限・応援規制、または無観客とする理由
1	陸上競技	○	3年生の保護者1名のみ入場可とし、4日間で1日か2日とする。観戦場所を指定し、選手との関わりを禁止する。警備員を配置し、リストバンドチェックと体温チェックを実施する。応援は拍手のみとする。
2	バレーボール	無観客	大会1日目については、高校の体育館も使用する事から、部員の観戦場所の確保の観点から、選手以外の入場は難しいため。 大会2日目以降については、観客席を選手の待機場所として設定する。会場によっては3月の地震の影響によりギャラリーの使用制限もあり、選手以外の入場は難しいため。 卒業アルバムのための写真館は入場可とする。顧問は大会当日に申し出る事。その他については、事前にバレーボール専門部HP記載の事務局に連絡をする。
3	バスケットボール	○	3年生選手の保護者のみ入場可。会場内では大きな声を出したり接触することを避けること。鳴り物による応援禁止。大会参加者（保護者も含む）は「健康観察書」の提出。
4	ソフトテニス	○	3年生選手の保護者のみ入場可。応援は拍手のみ。体調チェックシートを顧問に提出。参加者一覧表に保護者も記載のうえ本部に提出。
5	サッカー	○	部員及び選手、保護者のみ入場可。該当の試合のみ観戦可とし、試合間に観客の入替えを行う。発声禁止（拍手のみ）。健康観察書の提出。
6	ラグビー	○	保護者のみ応援可。フットボール場はバックスタンドのみの観戦とし、参加確認書の提出。ふれあいグラウンドはグラウンド外側をロープで囲み、囲んだロープの外側で観戦し、保護者一覧表を提出。
7	卓球	無観客	新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、体育館の収容人数と出場数（学校数・選手数）を考へての判断である。卓球競技は入館できる部員の人数制限も行っており、チームにより、部員であっても会場には入れない生徒がいる状況である。 部員の制限数 学校対抗…ベンチ入り部員（最大8名）+1名 個人戦（S・D）…出場数（予選通過数）+1名
8	ハンドボール	○	該当試合の関係者のみ入場可とし、完全入替え制。試合中の学校のアルバム業者は可。着席、マスク着用、声を出しての応援禁止で拍手のみとする。
9	柔道	無観客	会場である女川体育館が手狭であること。集客した際の管理を行う人員がいないこと。ライブ配信を予定している。
10	相撲	○	選手の保護者のみ入場可。発声禁止、拍手のみの応援とする。立ち入り禁止区域には入らないこと。
11	体操	○	選手の家系・保護者のみとし、選手1名につき2名までとする。一般生徒の入場は不可とする。選手が出場する種別のみ観戦可とする。応援は拍手のみ。健康観察書の提出。
12	バドミントン	無観客	体育館の収容人数と生徒の規模に対して感染症対策を行う上で、教員数が少なく、有観客への対応が難しい。メディア関係については事前に連絡頂き、入館時にチェックシートを記載し、撮影の規制をしたうえで許可を出す。
13	ソフトボール	○	入場制限は特になし。大声を出さず、拍手のみの応援とする。通常の感染対策を実施する（応援者の健康報告・検温・消毒・マスク着用等）。
14	ボート	○	選手の保護者のみ。選手・役員エリアへの立ち入り禁止。長沼フートピア公園駐車場から観覧席へのルートのみ使用。大会会場に入場はできない。（観覧席は隣接地の高台に設置されている） マスク着用、声を出しての応援禁止、ディスタンスの確保。

15	自転車競技	○	各ブロック（観客席）40名程度×3ブロックとし120名程度。保護者・学校関係者は観客席（ブロック）を学校ごとに指定する。連絡先・健康観察書の提出。
16	水泳（競泳）	無観客	3月16日の地震の影響で、会場とする予定だったセントラルスポーツ宮城G2 1プールのメインプールが現在使用不可の状態になっており、復旧のめどが立っていない。県高校総体は会場を変更してサブプールで実施する可能性が高い。新型コロナウイルス感染症予防対策のため、選手の控え所を十分に確保し、かつ、選手と観客との動線を分けて、観客席を確保することは難しいため。
	〃（飛込）	—	開催なし
	〃（水球）	○	選手の保護者のみ入場可。大声での応援は禁止。
17	剣道	○	3年生の登録選手の保護者のみ入場可。発声禁止とし、拍手のみの応援。（※原案であり、今後の変更もあり得る）
18	テニス	無観客	コロナ感染者数が収束しない中、屋外の活動ではあるが、出来る限り来場者を減らして大会を実施したい。大会会場も出入り可能な場所が数多くあり、来場者の把握ができないため。ただし、部活動としての大会参加、部の取り組みの継承という部分を鑑みて、控え部員の来場は許可とする。
19	フェンシング	○	検討中
20	レスリング	無観客	各種全国大会・東北大会も無観客での開催予定と、次の上位大会が6月17日からと日程がタイトな事で、選手の体調管理を考慮に入れ無観客とします。（この大会で感染してしまうと次の大会出場が危うくなる）
21	野球	○	<p>・県大会では、入場者からの（1）個人情報（氏名・住所・電話番号）の提供、または（2）新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」の登録、を確認し、検温・手指消毒を行った上で、入場料（大人700円、シニア300円）をいただいて入場を許可する。ただし、仙台市民球場（5,000人）、石巻市民球場（内野700人、外野2300人）、鹿島中央野球場（内野300人、外野1000人）、蔵王球場（500人）の入場制限を設ける。提供された個人情報は感染が確認された場合の、追跡調査のみに使用する。ただし、今後の感染状況によっては無観客試合となることもあり得る。</p> <p>【第69回春季東北地区高等学校野球宮城大会感染予防対策ガイドラインより】</p> <p>・入場者は、スタンドで両手が届かない間隔を空けて試合を観戦する。声を出しての応援は自粛し、拍手やメガホンをたたく行為のみとする。ハイタッチや座席の上に立ったり、一カ所に集まる行為、タオルを回す行為がないように事前告知を行う。</p> <p>・チームとして太鼓1個の持ち込みを許容する（球場によっては禁止されていることもある）。</p> <p>・県大会では応援リーダー、チアリーダーについても入場も可とするが、ソーシャルディスタンスをとることや大声を発しないなど、上記④に準じた応援の体制をとる。・プラスバンドによる応援は日本高野連が定める「プラスバンド入場に関するガイドライン」を遵守することを条件に準決勝以降認める。録音された音源を用いての応援は認めない。</p> <p>・学校観戦は学校長の責任の下で認めるが、上限を300人とする。学校生徒は指定された場所においてのみ観戦ができるものとする。学校観戦を希望する場合は、引率責任者を指定し、最低でも前日までに責任教師を通じて大会本部に連絡を入れることとする。引率責任者は当日の学校応援者名簿（様式C）を入場前に大会本部に提出する。</p> <p>【第69回春季東北地区高等学校野球宮城大会感染予防対策ガイドラインより】</p>
22	軟式野球	○	原則部員保護者のみ。各チームで応援の入場申請書を作成し、記載のある方のみ入場可能とする。また、発声を禁止し拍手などの応援にとどめること。
23	ヨット	○	一般応援生徒の入場は不可とする。受付で健康状態をチェックし、入場記録を作成する。発声は控える。
24	ウェイトリフティング	○	試合中の選手の家族のみ入場可とし、なるべく少人数での観戦。マスク着用、発声しての応援は禁止、拍手のみでの応援。健康観察書の提出
25	登山	○※	2日目の登山行動日のみ可とする。（※1日目・3日目は無観客） 入場制限は特に設けないが、密を避けるために現地にてご協力をお願いする場合がある。応援場所は、スタート・ゴール地点（えぼしリゾート無料休憩所前）のみ。選手たちの動線から10m以上離れて、拍手のみ。登山コースは狭く、三密を避けるためにパーティーごとに様々な場所で休憩をとるため、コース途中での応援は禁止。

26	弓道	無観客	会場に来ることができるのは、①男女別で選手+介添え1名。②競技役員。③競技補助員です。弓道部員であっても、全員会場で観戦できる状況にはありません。また、選手であっても、各校に2着配付したビブスを着用していないと観戦できません。 一般客、卒業生、保護者を含め会場には来て頂かないようにお願いします。 大会の様子は映像配信をしますので部員からQRコードを聞いて下さい。
27	ボクシング	○	道場内には入らずに外からのみ応援。10人程度まで。拍手のみ。発声禁止。
28	空手道	○	選手の保護者のみ入場可とし、各家庭2名まで。発声禁止、拍手のみ。健康観察書の提出。
29	ホッケー	○	参加チームの保護者のみ入場可とする。発声禁止・拍手のみ。ホイッスル禁止。
30	なぎなた	○	選手保護者のみ（1家族2名まで、選手想定15名程度）。会場の座席使用基準にあわせて間隔をあけて着席。発声禁止。健康観察書の提出。
31	カヌー	○	学校関係者・保護者・来賓・報道関係者のみ入場可。発声禁止、拍手のみ。健康観察書の提出。マスク着用。
32	アーチェリー	○	選手の保護者のみ入場可。健康観察書の提出。競技エリア（グラウンド）へは入場禁止※駐車場エリアで観戦可。電子機器音のするもので応援禁止。指導内容ととらえられる応援禁止。
33	少林寺拳法	無観客	少林寺拳法競技は、試合会場として塩釜高校武道館をお借りして実施する。観戦スペースが限られているため、関係者以外の入場を認めると会場内が密になる可能性がある。また、仮に有観客とするならば入場制限が必要となるが、運営スタッフとなる顧問が7名しかいない中で一般の観客の健康チェック等に対応することは難しい状況である。大会実施後の、塩釜高校の通常の学校生活へのリスクを減らすという観点からも、今年度は無観客やむなしと判断した。
34	ライフル射撃	無観客	三密を避けコロナ対策として、大会への参加人数を制限し開催予定である。また、大会2日目は宮城県国体予選⑤も開催され、少人数ではあるが大学生や一般射撃選手の来場も予想される。高校専門部会としては感染予防対策の一つとして、入場制限を行い2日間無事に大会を成功させたいと考える。